

# えひめ地域活性化ファンドを活用した アフレル株式会社への第二創業支援

支援機関 株式会社愛媛銀行 支援内容 第二創業支援 支援区分 創業

## アフレル株式会社

### 事業者 概要

社名／アフレル株式会社  
代表者名／代表取締役 西澤 直城  
業種／販売業（食料品及びレトルト食品、缶詰等の加工食品の  
販売、化粧品、健康食品及びサプリメントの製造及び販売）  
所在地／四国中央市金生町山田井818番地1  
資本金／51,000,000円  
設立／平成30年7月2日  
従業員数／3名



新デザインパッケージのキャビア

### 支援に至る経緯

株式会社愛媛銀行（以下、「当行」という）の取引先から四国中央市でチョウザメの養殖を開始して10年を迎える先があるとの情報を受け、新規開拓のため道路舗装業の中央道路株式会社（以下、「中央道路」という）を訪問したことがきっかけ。中央道路はアフレル株式会社（以下、「アフレル」という）の親会社であり、経営多角化のため平成20年にチョウザメの養殖を開始。以降、当行は地元レストラン・旅館や日本イタリア料理協会の紹介、愛媛県が発行する「えひめが誇るすご味データベース」への掲載を推薦し、キャビア、化粧品等、チョウザメ加工品の販路開拓支援を行った。当支援を続ける中で、中央道路の代表者である柴垣正利会長から「チョウザメ事業強化のため企画・販売事業を娘婿に引き継ぎたい。」との要望を聞き、アフレルの設立支援に至った。

### 支援内容

#### えひめ地域活性化ファンドを通じた投資による開業資金の支援

平成30年3月、当行は四国地方で初めて株式会社ゆうちょ銀行と共同出資して、愛媛県を中心に地域活性化に寄与する創業・第二創業および成長性の高い未上場企業を支援することを目的にえひめ地域活性化ファンドを組成した。平成30年7月、当ファンドの第一号の投資先としてアフレルに開業資金として支援。当支援検討の際、以下の支援策も同時に提案し実行していくこととした。

#### (1) 分社化の提案 事業計画の策定

養殖事業と商品販売事業の役割と会計を明確化することを目的に中央道路からアフレルを分社化させる提案を行った。また、当行が中小企業診断士を紹介し、今後の事業計画を策定した。

#### (2) 商品デザイン・監修

チョウザメ加工食品の商品価値向上のため、当行が日本イタリア料理協会「ピアッツスズキ（東京・麻布）」のオーナーシェフ、鈴木弥平氏を紹介。今後、鈴木氏がキャビアやチョウザメ身肉入りのパスタソースなどの新商品を監修する。

## 支援の効果

### (1) 地域雇用の創出

今回のアフレル設立にあたり、従業員を3名雇用。今後も事業の拡大に応じて、地域から人材を採用していく予定である。

### (2) 愛媛県四国中央市、独自のブランド構築

アフレル独自のブランドを構築するために、都市圏の著名で実績のある料理人の技術とアフレルのチョウザメをマッチングさせ、新しい商品価値を生み出している。今後も愛媛から全国、そして世界の市場へと挑戦できるブランドづくりを目指す。

## 今後の展開

投資実行以降、アフレルと当行を含めたファンド運営関係者は、月例経営会議を開催しており、事業の進捗状況の確認、事業計画における予算と実績の管理、現状の課題の抽出とその対応策を検討している。

各事業には若干の進捗の遅れはあるものの、ほぼ計画どおり進んでいる。

- (1) 鈴木シェフ監修のチョウザメ加工食品（身肉を使ったパスタソース：3種）は、商品販売に向けて2月の下旬頃、試作品が完成予定となっている。次回以降の月例会議にて販売先の選定を行っていく。
- (2) キャビア（B級以下の製品）から抽出したプラセンタを配合した新ブランド化粧品は、3月頃に販売開始予定である。こちらは販売ルートがほぼ確定しており、製品が仕上り次第、各店（問屋）へと順次発送予定となっている。初回販売地域は、東京、大阪、名古屋。またこの商品は全国区のタレント（インフルエンサー）を起用し、SNSマーケティングを展開していく予定となっている。

## 事業者の声

愛媛銀行様には特に養殖部門（キャビア、キャビアフィッシュ）の販路拡大において様々なサポートをしていただき、取引に繋がるケースも多く、大変ありがたく存じております。

今後は化粧品の新ブランド商品の発売が控えております。

ご支援の成果をしっかりと残していけるよう頑張っております。



代表取締役 西澤 直城

## 支援者の声

西澤社長ならびに関係者の皆さま、この度は新会社の設立、誠におめでとうございます。また、日頃から当行のご提案に、ご理解、ご検討いただき厚く感謝申し上げます。

今後も御社の様々な課題や悩みに対して、同じ目線で解決策を提案してまいります。引き続きよろしく願い申し上げます。



愛媛銀行 白石 雄一